

学年・学科を越えた 課題研究支援 拡充しています

3年生×1年生



(A) 理数科1年生の3年生に学ぶ会

3年生×2年生



(B) 普通科2年生の3年生に学ぶ会

学年間

2年生



(C) 理数科・英語科合同研究計画報告会

3年生



(D) 理数科英語プレゼンテーション助言

理数科 × 英語科

図1 4月末～5月に実施した共創的課題研究支援の様子

熊本北高校SSH第Ⅲ期では、KITAco-creationを柱に、共創的な課題研究支援体制構築を進めています。1学期の早い段階で、学年や学科を越えた発表会や報告会、先輩に学ぶ会を次々に実施しています。ここでは、違い

から学び新たな価値を創造することを目的としています。

学年間の学ぶ会では、研究活動を行った先輩から、課題研究を進めていく上で考えていたことや、苦労したこと等を質疑応答を通して双方向で学ん

でいきました。

理数科と英語科の合同研究報告会では、互いの計画について発表と質疑応答を行い、違いから学ぶ活動を進めました。理数科3年は、英語での発表について英語科から助言を受けていました。

SSH関連3会議の刷新・新設 全校体制での課題研究推進を視野に

今年度から、全学科2学年でのSSH科目としての本格的な課題研究が始まりました。そのため、これまで以上に、多くの先生が課題研究支援に携わることになりました。

本校では、課題研究担当者の会議を「PLC」として時間割に入れることで、毎週1回の課題研究に関する連絡やワークショップ、振り返りを実施できるようにしました。

PLCでは、一方的な伝達ではなく、参加者同士

で気付きや振り返りを促し豊かな情報交換ができる場になっています。

また、SSH部会ではポータルサイトを利用して各プロジェクトの進捗状況をリアルタイムで共有し、会議では一方的な情報伝達にならないよう工夫をしています。

さらに、管理職とSSH研究部によるSSH運営委員会も、毎週の時間割に組み込み、迅速かつ柔軟な研究開発が行える体制を整えています。



プロジェクト進捗状況等

図2 PLC(上)及びSSH研究部ポータルサイト(下)

三学会合同熊本大会 高校生ポスター発表会4テーマ参加!



図3 三学会合同学会での発表の様子

5月27日(土)に、熊本大学で実施された日本動物学会、九州沖縄植物学会、日本生態学会の九州地区の三学会合同学会高校生ポスター発表会に、本校から3学年の理数科1班、普通科3班が参加しました。

大学教員や大学院生に対してそれぞれ堂々と発表し、さらにメモを取りながら熱心に意見交換を行っていました。